

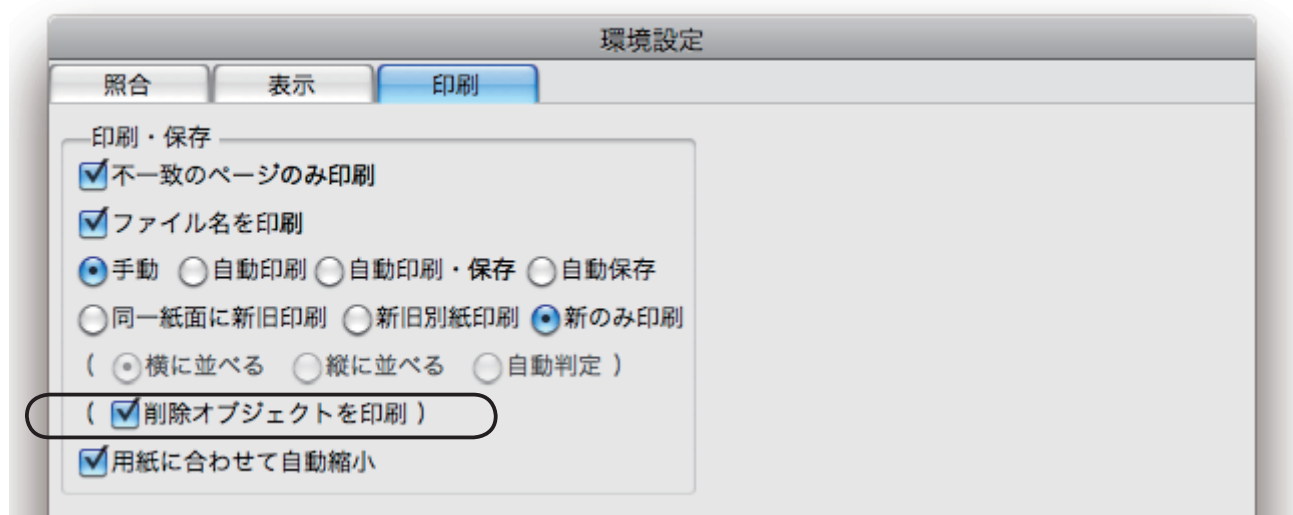
Proof Chekcker PRO Ver.3.1 から 3.2 へのマイナーバージョンアップ詳細について

Proof Checker PRO をご愛顧頂き、ありがとうございます。
YY/MM/DD 日付で、下記の修正を含むマイナーバージョンアップを行いました。
バージョン「3.1 からのマイナーバージョンアップ詳細は以下の通りです。

◎仕様変更及び新機能

● OS 共通

- 「新のみ印刷」の場合、削除オブジェクトを赤斜線で印字するか、しないかを選択できるようになりました。



「環境設定」→「印刷」→「新のみ印刷」と選択すると「削除オブジェクトを印刷」のチェックボックスが有効になります。

以前のバージョンでは「新のみ印刷」を行う際に、旧ファイルから削除されたオブジェクトがあった場合、その部分を赤斜線で印字されていました。
今回のバージョンでは、赤斜線で印字するかどうかを「削除オブジェクトを印刷」のチェックにより設定する事が可能となりました。

◎改善点及び不具合修正

● OS 共通

- 特定の PDF ファイルにおいて照合結果には表示されていない文字が出力時に印字される不具合を修正しました。
- 「環境設定」→「照合」→「図形許容誤差」に非常に大きい値を入力すると値が小さい時よりも多く不一致指摘がされる不具合を修正しました。
- 「環境設定」→「照合」→「文字形で照合」を行うと同じ書体中一部分だけフォント違いとして指摘される不具合を修正しました。
- 「環境設定」→「照合」→「照合対象 / テキスト・画像・パス」のいずれかのチェックを外し、印刷時に「新のみ印刷」で出力すると、照合対象のチェックを外した項目のエリアに赤斜線が入る不具合を修正しました。
- Jpeg2000 の画像が Windows7 で表示されないことがある不具合を修正しました。
- 特定のデータにおいて、照合結果で黒の罫線の部分がマゼンタで表示される不具合を修正しました。

● Window 版

- 照合結果を保存し、再度開こうとするとエラーで開かない不具合を修正しました。
- 特定のデータを Windows7 照合を行うと照合結果が表示されるところで強制終了する不具合を修正しました。

● Macintosh 版

- 10.7 (Lion) へは、現在のところ未対応です。対応バージョンを準備し、検証中です。検証完了次第、メール配信させていただきます。

以上